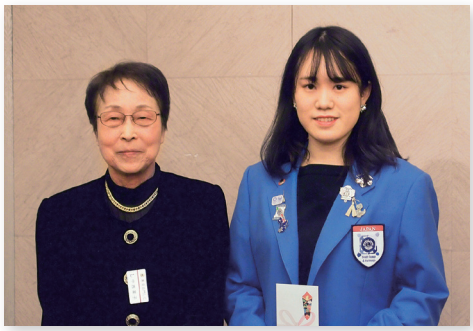
白門ライオンズ会報

Quarterly of Lions　2019.1-2-3　No.15

東京白門ライオンズクラブ　http://hakumon-lions.org/

15th Anniversary Since 2005



中央大学

東京白門ライオンズクラブ

TOKYO HAKUMON LIONS CLUB

寄稿

2019年3月14日（木）於 中央大学多摩キャンパス

2018年度中央大学学生奨励賞合同授賞式報告

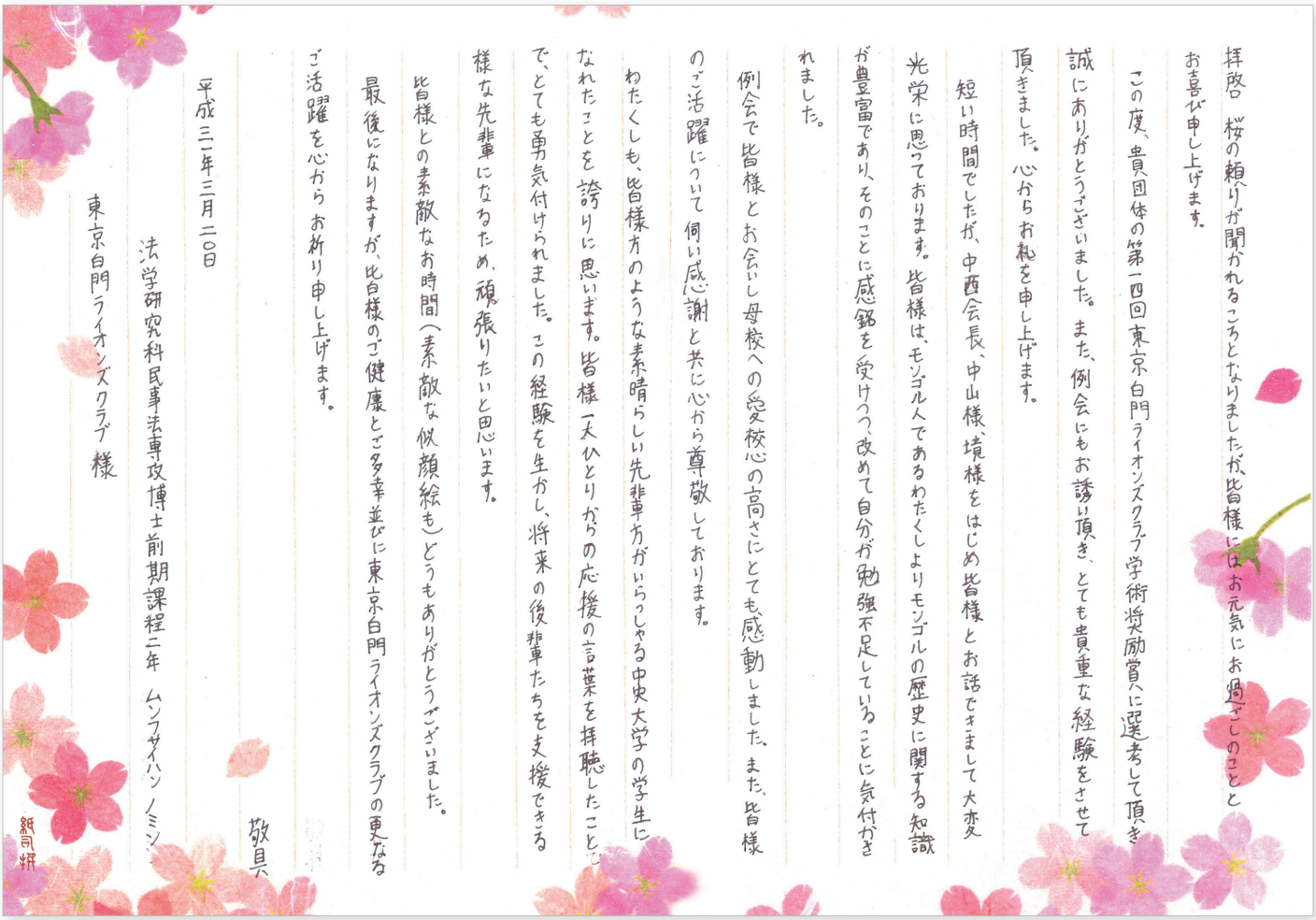
L境 捷彦

▲ 受賞者と一緒に記念撮影
受賞した山本光治さん（左から３番目）とムンフサイハン・ノミンさん（左から４番目）

春爛漫の3月、多摩キャンパス1号館1410号室にて、学術奨励賞授与式が開催され、中西美子会長、松田啓理事、幹事長の境捷彦が出席しました。

東京白門ライオンズクラブ学術奨励賞も第14回を迎え、歴史を感じるものがあります。今回はモンゴル籍の大学院法学研究科博士課程前期課程民事法専攻ムンフサイハン・ノミンさん（指導教授：秦公正先生）が受賞。第５回東京白門ライオンズクラブ法務研究科学術奨励賞は大学院法務研究科専門職学位課程法務専攻山本光治さん（指導教授：森信茂樹先生）が受賞し、中西美子会長から、晴れて賞状及び金一封が渡されました。

尚、法曹会賞は松田啓法曹会副幹事長が法学部４年林竜希さんに授与しました。約1時間、70余名の団体賞及び個人賞の授与式が行われた後、引き続き受賞祝賀パーティーが開催され、酒井正三郎総長、福原紀彦学長、指導の先生方を交え、授与された方達との懇親会が開かれました。締めに、中央大学校歌を輪になって斉唱し、散会となりました。



拝啓　桜の頼りが聞かれるころとなりましたが、皆様にはお元気にお過ごしのことと
お喜び申し上げます。
この度、貴団体の第一四回東京白門ライオンズクラブ学術奨励賞に選考して頂き
誠にありがとうございました。また、例会にもお誘い頂き、とても貴重な経験をさせて
頂きました。心からお礼を申し上げます。
短い時間でしたが、中西会長、中山様、境様をはじめ皆様とお話できまして大変
光栄に思っております。皆様は、モンゴル人であるわたくしよりモンゴルの歴史に関する知識
が豊富であり、そのことに感銘を受けつつ、改めて自分が勉強不足していることに気付かき
れました。
例会で皆様とお会いし母校への愛校心の高さにとても感動しました。また、皆様
のご活躍について伺い感謝と共に心から尊敬しております。
わたくしも、皆様方のような素晴らしい先輩方がいらっしゃる中央大学の学生に
なれたことを誇りに思います。皆様一人ひとりからの応援の言葉を拝聴したことで
、とても勇気付けられました。この経験を生かし、将来の後輩たちを支援できる
様な先輩になるため、頑張りたいと思います。
皆様との素敵なお時間（素敵な似顔絵も）どうもありがとうございました。
最後になりますが、皆様のご健康とご多幸並びに東京白門ライオンズクラブの更なる
ご活躍を心からお祈り申し上げます。
敬具
平成三一年三月二〇日
法学研究科民事法専攻博士前期課程二年　ムンフサイハン ノミン
東京白門ライオンズクラブ 様
紙司拝

▲ 学術奨励賞を受賞された、ムンフサイハン・ノミンさんからの感謝のお手紙

寄稿

2019年3月16日（土）於 明治大学駿河台キャンパス
第１回 五大学ライオンズクラブ
留学生スピーチコンテスト報告

L境 捷彦

▲ 参加された留学生の皆さんと記念撮影。左から２番目がチョ・ヨンジンさん、左から４番目がメイ・ヤモンカイノさん。

▲ 受賞者記念撮影の様子

３月16日（土）、明治大学駿河台キャンパスにおいて５大学LCIF主催で「第１回五大学ライオンズクラブ留学生スピーチコンテスト」が開催されました。参加者は各大学から推薦された10名（韓国・中国から各４名の計８名、フランスから１名、ミャンマーから１名）でした。発表者とアドバイザーがコンビとなり熱演、途中で言葉に詰まりアドバイザーに応援を求めるスピーカーもいましたが、総じて流暢な日本語で各自設定のテーマに沿って５分間スピーチしました。

全員が大なり小なり５分間を超過したスピーチだったようです。くじ引きで話す順を決めましたが、中央大学法学部２年メイ・ヤモンカイノさん（ミャンマー）が１番で、発表テーマ「失敗が変えてくれた私」を民族衣装で熱演。入賞間違いないと思いましたが、残念でした。

もう１人、韓国籍の中央大学総合政策学部３年チョ・ヨンジンさんはテーマ「日本は、なぜファッション感覚が高いと思われるのか」を流暢な日本語で熱演しましたが、残念でした。

最優秀賞は日本大学法学部２年で中国籍のチョウ・モンテンさんによる「私の日中関係論」、敢闘賞は立教大学観光学部４年で中国籍のヨウ・キンリンさんによる「親はそのうちを待たない」、明治大学大学院教養デザイン研究科１年で中国籍のリン・ロさんによる「遅刻から見る日本の大学生」の２名が受賞しました。

今回は東京法政ライオンズクラブ炭田俊文4R3Zチェアパーソンが開催委員長で、法政LCが当番幹事クラブ、会場の設営などは東京駿河台LCが担当、コンテスト運営は実績のあるセントポールLCが担当。審査委員は各校から１名、当クラブからは星野紘紀ULCF委員が参加しました。５大学の協力宜しく大成功のスピーチコンテストでした。

尚、来賓は山浦晟暉名誉顧問、今井文彦330A地区ガバナー、伊賀保夫第一副地区ガバナー、進藤義夫第二副地区ガバナー、河合悦子名誉顧問、中井正力11Rリゾンチェアパーソンの皆様が来会しました。

２部として、表彰式と懇親会が行われ、榎秀郎ULCF委員の開会の辞で始まりました。ULCF発足以来、積み立てられた貴重な財源が、紆余曲折を得てようやく日の目をみてこのコンテストが開催されたことは５大学LCにとって大変喜ばしい事です。榎Ｌが２部開会の辞で「今後100年続く」と言われましたが、本当にそうなると良いですね。

2019年1月9日（水）

第一例会（お屠蘇例会） 於 銀座東武ホテル（B1 ロジェドール）

▲ 鈴木会長から増渕Ｌへ、委嘱状の授与

▲ 田尻Ｌ、お誕生日おめでとうございました！

▲ ③田口Ｌのウィ・サーブ！

あけましておめでとうございます。テーマーの岡田孝子Ｌのご挨拶からユーモアあふれる司会進行ではじまり、第一副会長・伊東敏Ｌの開会のゴングは、恒例のお正月京都旅行のお話と、UNKNOWN UNKNOWNで混沌の年とのお話で幕が開けた1月第一例会。中西美子会長が体調不良（風邪）でご欠席でしたので、会長代行の鈴木誠Ｌが代わってご挨拶されました。

今年は５月に新しい元号に変わり、10月は消費税10％になるなど、色々な変化を感じる年になりそうだとの予想をされ、また15周年事業を迎えるにあたり、具体的な準備をこれからしていかなければならないとお話をされました。

その後330-A地区第65回年次大会（映像部会）で、鈴木誠会長代行より増渕秀一Ｌに委嘱状が授与されました。映像部会では、年次大会でビデオ等の映像を撮影するそうです。当日はよろしくお願いいたします。

今月１月のお誕生会は田尻紀夫Ｌ１名で“ウォー”。79歳のお誕生日おめでとうございます。

引き続き田口彰紀Ｌのウィ・サーブで宴が始まりました。

本日は日本酒で乾杯、メニューは新春の和食料理です。とても美味しゅうございました。

後半の司会は副テーマーの大久保英彦Ｌが担当。

鈴木誠Ｌの大学･学員会情報では、大越武雄Ｌが正月の箱根駅伝の応援報告をされ、その後、続けて水津正臣Ｌが楽しい応援報告と中央大学都心回帰のニュースをご報告されました。

文京区大塚一丁目の新校地と後楽園キャンパスへの法学部移転が確定する見通し、今後、関係機関と調整の上、2023年度からの移転に向けて準備を進めるとの事です。さらに、根岸清一Lからも法学部の都心回帰の詳細のご説明がありました。ようやくここまでたどり着いたと言う感じがします。これから附属中学・高校の偏差値上昇など中央大学のブランド力につながれば嬉しいです。

幹事長・境捷彦Ｌの理事会報告（330-A地区の法人化について水津正臣Ｌと星野紘紀Ｌからご説明がありました）、お待ちかねのテールツイスターの時間は、茂岡幹弥Ｌ、増尾知恵Ｌが発表しました。ファイン・ドネーションの発表（会計・星野紘紀Lから11万3,000円の報告でした）、全員で中央大学校歌斉唱。幹事長代行・河野信之Ｌがいつもながらの軽妙なスピーチで閉会のゴングを鳴らし、無事終宴となりました。

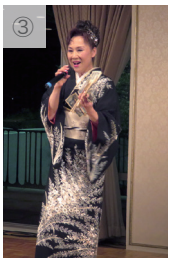
（出席者24名）

【Ｌ井原 俊二・記】

① 330 ー A 地区の法人化について説明をする水津Ｌ　② 開会のゴングでお話をする伊東Ｌ　③副テーマー、大久保Ｌの司会　④茂岡Ｌ、増尾Ｌのテールツイスター

2019年1月21日（月）

5大学合同新年会例会報告 於 東京プリンスホテル サンフラワーホール



① 大越Ｌの指揮で、我が白門ライオンズによる校歌斉唱とエールを元気よく披露　② 会長代行の鈴木Ｌによる年頭挨拶　③ 雅乃あかりさんによる華やかなステージ　④石黒Ｌ、伊東敏Ｌ、河野Ｌ　⑤ 新藤Ｌ、大越Ｌ、増渕Ｌ

１月21日（月）、恒例の5大学合同新年例会が、幹事クラブ東京法政ＬＣのご尽力により、東京プリンスホテル「サンフラワーホール」にて開催されました。山浦晟暉元国際理事、今井文彦330-A地区ガバナー、河合悦子元地区ガバナー、宇田川雄弘元地区ガバナー、石井征二元地区ガバナー、村木秀之元地区ガバナー、中井正力11Rリゾーンチェアパーソン、吉田亮一11R-1Zゾーンチェアパーソンと沢山のご来賓がお見えになりました。

山浦元国際理事から、例年通り５大学スポーツ関連各校の活躍状況の発表がありました。箱根駅伝では法政大学以外はシード権を取れず、各校のあまりメジャーでない（？）スポーツを探して発表されるのにご苦労されていました。

ご来賓挨拶に続き、５大学会長の年頭挨拶がありました。白門ＬＣは鈴木誠会長代行が「５大学の卒業生数は数百万人に上り、その貢献度は多大なものがあります」と挨拶され、又、15周年結成記念大会への参加のお願いをしました。

第二部は法政ＬＣ主催の青少年空手道大会を永年支援されている河合悦子Ｌ開会挨拶に続き、石井征二Ｌのウィ・サーブで幕が切って落とされました。

アトラクションは雅乃あかりさんのオンステージを聞きながら、美味な料理と美酒を嗜むうちに、クライマックス。５大学校歌と各校それぞれのエールで会場は大変盛り上がりました。

ライオンズローアに続き田中則雄４Ｒリゾンチェアパーソン（桜門ＬＣ元会長）閉会のご挨拶、そして恒例、「また会う日まで」を参加者全員で輪になり手を繋ぎ歌い散会となりました。参加者数74名、白門ＬＣ参加者数20名でした。

【Ｌ境 捷彦・記】

2019年1月28日（月）

臨時第１回キャビネット会議・賀詞交歓会 於 東京プリンスホテル

１月28日（月）、東京プリンスホテルに於いて、臨時第１回キャビネット会議・賀詞交歓会が行われました。

今井ガバナーの挨拶では、「みんなダイアモンド」に多くのメンバーが協力してくださったことへのお礼の言葉と、引き続き会員増強への協力依頼がありました。

続いて、前期ガバナーチームにナレシュ・アガワル前国際会長より届いた地区ガバナーチーム優秀賞の贈呈があり、山浦元国際理事にはグドラン・イングバドター国際会長より届いた国際会長感謝バッチが贈呈されました。

賀詞交歓会では恒例の鏡割りの後、ウィ・サーブの乾杯で参加者の喉を潤し、６月１日に行われる15周年に向けて宣伝の為、我がクラブからは中西会長、榎Ｌ、大久保Ｌ、私Ｌ増渕が参加しました。交歓会では地区のメンバーが多く集まるので、さまざまな方々に宣伝することが出来ました。

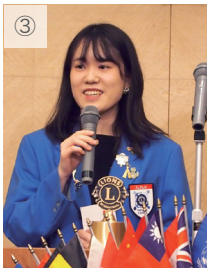
【Ｌ増渕 秀一・記】

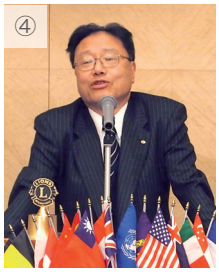
▲ 華やかな会場をバックに記念撮影

▲ 楽しい出し物も！

2019 年 2 月 6 日（水）

第一例会報告　於 銀座東武ホテル（芙蓉）





① 石黒 L、伊藤尚 L のテールツイスター　② ゲストでいらっしゃった沼田浩正様によるスピーチ　③ 榎 L のお孫さん、木澤杏那様による帰国報告　④ 横井 L によるスピーチ　⑤ 根岸 L、岡本 L、増渕 L、お誕生日おめでとうございました！

副テーマーの大久保英彦 L の司会進行ではじまり、第一副会長・伊東敏 L の開会のゴングでのお話は、先日福島県知事とお会いして福島の復興は相当進んでいるとの事。それを郡山に住んでおられる伊東 L のお姉様に確認したところ、復興なんてまったく進んでいないと返答されたそうです。日本の負の遺産として存在している実態を、この機会に白門ライオンズの皆様にも知っていただきたいとのことでした。

この日のビジターはお２人。増渕秀一 L スポンサーの沼田浩正様は埼玉白門会のゴルフでのお知り合いで川越つばさライオンズクラブに所属、またプロ歌手でもありタイ王国で 4 度のアワード受賞、2017 年にはカンボジア王国王女殿下に御前歌唱されたそうです。CD もプレゼントしていただき有り難うございました。

また、YCE 交換留学制度で 3 週間イタリアで過ごされた榎秀郎 L のお孫さんの木澤杏那様には、シチリア島でのホームステイ、フィレンツェでのご旅行の帰国報告をしていただきました。海外の文化の違いや他国の学生とのコミュニケーションを体験、木澤さんは大変刺激を受けて帰国され、今後ますます活躍が期待されることと思います。

例会では YCE からの補助金をゾーンチェアパーソンに代わって中西美子会長から贈呈されました。

そして中西美子会長がご挨拶された後、今月 2 月のお誕生会は根岸清一 L、岡本睦治 L、　増渕秀一 L の 3 名で " ウォー "。お誕生日おめでとうございます。

続いて本日の講演は、第二副会長・横井弘明 L にお願いしました「日本の司法制度について」のお話です。

最近の日産カルロス・ゴーン元会長の拘束の問題もあり、日本における被疑者・被告人の身体拘束制度について講演いただきました。

1　昔から日本は人質司法である。簡単に拘束されて、解放されることが難しい。
例えば、横井 L は、朝の通勤時に地下鉄を降りるときに、付近にいた女性から手をつかまれ「この人痴漢です」と言われた。横井 L は全く身に覚えがないので、出るとこに出て話そうと言った（女性と築地署で話しましょうとなる）。横井 L の運命やいかに。法律上、逮捕され帰ることができない。

2　逮捕勾留制度
・起訴前…48 時間 警察　24 時間 検察官
勾留請求…10 日、延長 10 日まで（条文に反し簡単に延長される）。
日本では合計 23 日間勾留されます（法の建前は 13 日）。
・起訴後…保釈されない限り裁判が終わるまで勾留が続く。
痴漢で疑われた時、誤認逮捕の場合が多いが否認し続けて起訴されると裁判で無罪になるのは 0.1%の確率しかない。

3　海外との比較
ポール・マッカートニー氏の場合や、カルロス・ゴーン氏の場合を例にすると、海外からの批判が多い。例えば起訴前での拘束時間が非常に長い。
（日本 23 日、フランス最大 24 時間・延長可能、オーストリア 48 時間、イギリス 24 時間･72 時間まで延長可能、イタリア 24 時間、台湾 16 時間……）
取調べ時間が長い、録音録画が進んでいない、被疑者段階の保釈制度が認められていない、弁護人の立会が認められていない。カルロス・ゴーン氏は勾留されてはいるが優遇されているらしい。もし本当だとしたらそれはおかしい。

4　日本の場合 23 日間の勾留（被疑者段階での拘束）
過去のいろいろな事件の事例を参考に説明される。
取調べが行われる（調書を取る）、時間が長い、退去の自由はない、黙秘権行使の困難性、弁解を聞いてくれない、23 日で終わらない場合もある（事件単位）、海外では取調べは、ほとんど短時間で終わる。
良い面として、日本の取り調べは人格と人格の勝負であり被疑者・被告人を更生させる為にある。海外からも一定の評価はある。

5　最近の傾向
・勾留請求却下率は上がった（14%、昔は1%）韓国との比較。
・保釈も以前よりは認められるようになった。
・録音録画制度の導入により黙秘権の行使がしやすくなった。

6　日弁連の取り組み
・全事件の被疑者国選制度の導入
・録音録画制度の拡充
・弁護人立会い制度の導入
以前はアメリカのミランダルールを推奨していた、現在はイギリス型制度を模範・導入を考えている。

第二副会長・横井弘明Ｌ、貴重な講演どうも有り難うございました。

▲ 美声を披露する沼田浩正様

引き続き前会長・田口彰紀Ｌのご挨拶とウィ・サーブで宴が始まりました。

懇談の途中に本日ゲストの沼田浩正様から、サプライズサービスで「スキヤキ（上を向いて歩こう）」をアカペラでご披露いただき、例会の皆さんは沼田さんの力強い声量に圧倒され聴き惚れてしまいました。

後半司会は副テーマーの大久保英彦Ｌ・根岸清一Ｌが担当。

鈴木誠Ｌの大学・学員会情報では、中央大学学員時報の「新しい時代へ 大きく動く中央大学」と題した記事を紹介され、根岸清一Ｌから法学部の都心回帰の詳細のご説明がありました。文京区大塚一丁目（茗荷谷）の新校地と後楽園キャンパスへの法学部移転が確定したことやロースクール移転の問題など、2023 年度からの移転に向けて準備を進めるとの事です。

また、榎秀郎Ｌからは今年、市谷田町に新学部（国際情報学部）ができ、150 名定員のところに 6,000 名の受験者応募があったとの嬉しい報告と、大学学員会・会長の４月選挙についてお話がありました。

続いて第二副会長・横井弘明Ｌから法科大学院の今後についてお話や、榎秀郎Ｌから今年のホームカミングデーは理工学部で行うとのお話、次回４月 28 日の校歌を歌う会の PR が大越武雄Ｌよりありました。

さらに、幹事長・境捷彦Ｌの理事会報告、お待ちかねのテールツイスターの時間は伊藤尚Ｌ、石黒敏子Ｌが発表しました。

ファイン・ドネーションの発表（副会計・木村具成Ｌから11 万 8,000 円の報告でした）、全員で中央大学校歌斉唱、第二副会長・横井弘明Ｌが本日大忙しのスピーチで閉会のゴング（一度ヘッドが外れて何処かへ飛んでいきました！）を鳴らし、無事終宴となりました。
（出席者 24 名）

【Ｌ井原 俊二・記】

2019 年 2 月 20 日（水）
第二例会報告　於 銀座東武ホテル（芙蓉）

① ビジターとしてご出席された明治大学（東京駿河台 LC）の佐久間洋一Ｌ、藤井仁志Ｌ、平田桂子Ｌ　② 河野Ｌによるゴルフ成績のご報告　③ 茂岡Ｌ、伊東尚Ｌによるテールツイスター　④ 石村Ｌによる閉会のゴングのスピーチ　⑤ 櫻井Ｌによるエール

副テーマー・根岸清一Ｌの司会進行からはじまり、第一副会長・伊東敏Ｌの開会ゴングで幕が開け、中西会長がそろそろ人生 100 歳時代が到来するなど、ご挨拶されました。

本日のビジターは明治大学（東京駿河台 LC）の佐久間洋一Ｌ、藤井仁志Ｌ、平田桂子Ｌの３名が例会にご出席いただき誠にありがとうございました。

前会長の田口彰紀Ｌのウィ・サーブで宴が始まり、後半司会は副テーマーの櫻井俊宏Ｌが担当。会長代行の鈴木誠Ｌの大学・学員会情報では先日ハーフ 39 で回った河野信之Ｌを紹介され、本人からはまさに神がかった奇跡のラウンド（那須高原・ホウライＣＣ）だったとユーモアを交えて楽しく報告いただきました。

続いて榎秀郎Ｌから大学学員会・会長の４月選挙についてお話がありました。理事会報告（幹事長代行河野信之Ｌ）、テールツイスターの時間は、伊藤尚Ｌ、茂岡幹弥Ｌのコンビが発表しました。

ファイン・ドネーションの発表では、本日は合計で 10 万 1,000 円（会計・星野紘紀Ｌ）、その後全員で中央大学校歌斉唱後、元応援団の櫻井俊宏Ｌが東京駿河台LCの３名に懇親のエールを披露されました。

閉会のゴングは副幹事長の石村博義Ｌが楽しいスピーチ後高らかにゴングを鳴らし、久しぶりに全員で記念撮影をして無事例会が終宴となりました。
（出席者 24 名）

【Ｌ井原 俊二・記】

2019年3月6日（水）

第一例会報告 於 銀座東武ホテル（芙蓉）

① 巨大な横断幕　② 増尾L、茂岡L、伊藤Lによるテールツイスター　③ 全員集合！

副テーマーの根岸清一Lの司会進行からはじまり、第一副会長・伊東敏Lの開会ゴングで幕が開け、季節の弥生のお話をされた3月第一例会。その後中西美子会長がご挨拶され、「頑張れ中央大学」の巨大な横断幕をご披露しました。今後箱根駅伝等の応援に登場します。

本日は表彰が2件あり、第14回大学院留学生学術奨励賞授与のムンフサイハン・ノミン様（モンゴル出身）とその指導教授・秦公正先生が奨励賞授与の御礼のご挨拶をされて、続いて第5回法科大学院生学術奨励賞授与の山本光治様（当日欠席）指導教授・森信茂樹先生が御礼のご挨拶をされました。

また本日の来賓は中央大学副学長・法学部教授の井上彰先生にお越しいただき、白門ライオンズクラブからの毎年の学術・スポーツ支援に御礼のご挨拶がありました。

今月のお誕生会は前会長の田口彰紀L、大越武雄L、幹事長の境捷彦Lの3名で“ウォー”。お誕生日おめでとうございます。

続いてお待ちかねの中山正暉終身名誉会長のお楽しみ講話です。足を痛めてから今年はじめての例会に出席いただきました。ますますお元気で6月に御年87歳になられるそうです。

講話は平成天皇御在位30周年記念式典にご招待されたご報告と昭和天皇の金貨の話、江戸振袖火事、江戸城再建の話、モンゴルの話、羽田総理、象徴天皇、日本占領と「敗戦革命」危機の書籍の話、朝鮮動乱、マッカーサーと朝鮮戦争、その後の朝鮮半島問題、美智子妃殿下とのエピソードなど、今回もエネルギッシュなお話をしていただきました。

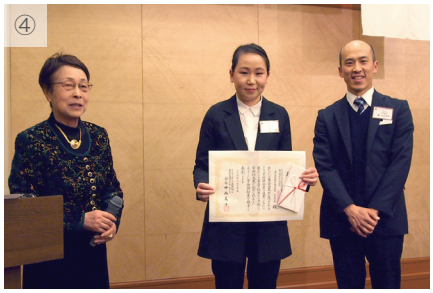
会食・懇談は前会長の田口彰紀Lのウィ・サーブで宴が始まり、後半司会は副テーマーの大久保英彦Lが担当。司会の前に2月12日池江璃花子選手が白血病との公表報道で日本骨髄バンク広報部長である大久保英彦Lが経緯を報告されました。テレビ取材などで国民の皆様の関心が高まり、昨年2月（1カ月のドナー登録数）が2,500人に対して、今年の2月が1万1,000人と登録数が4倍強となったそうです。今後も国民の皆様に益々のご協力・ご支援のお願いがありました。

続いて会長代行の鈴木誠Lの大学・学員会情報では3月3日東京マラソンで中大・堀尾選手（箱根駅伝では2区を力走）が日本人トップ、総合で5位に入った嬉しい報告がありました。

また副学長の井上彰先生からは法学部都心移転の詳細をお話しいただきました。その後、榎秀郎Lより大学学員会・会長の4月選挙について報告がありました。

理事会報告（幹事長境捷彦L）、テールツイスターの時間では増尾知恵L、茂岡幹弥L、伊藤尚Lの名トリオで発表いただきました。ファイン・ドネーションの発表は、会計・星野紘紀Lから13万5,000円の報告でした。また東京マラソンでの堀尾選手の報道があまりにも少ないと日本テレビに猛抗議したエピソードをご披露。全員で中央大学校歌斉唱、第二副会長・横井弘明が今回も爆笑のスピーチ後閉会のゴングを“ゴーン”と鳴らし全員集合写真撮影後、無事終宴となりました。（出席者27名）

【L井原 俊二・記】



① 井上彰先生　② 森信茂樹先生　③ 大久保L　④ ムンフサイハン・ノミン様、秦公正先生
⑤ 田口L、大越L、境L、お誕生日おめでとうございました！

2019年3月20日（水）
第二例会 於 銀座東武ホテル（芙蓉）

① 鈴木誠Ｌが代わって挨拶　② 河野信之Ｌが会員増強賞の表彰　③ 田口彰紀Ｌのウィ･サーブ　④ 中山正暉終身名誉会長のお楽しみ講話　⑤ 後半司会の櫻井俊宏Ｌ　⑥ テールツイスター石黒敏子Ｌ、伊藤尚Ｌ　⑦ 理事会報告（幹事長境捷彦Ｌ）　⑧ 横井弘明Ｌによる閉会のゴング　⑨ 来年の駅伝予想を話す木村実牙男Ｌ　⑩ 会計・星野紘紀Ｌ

季節もだいぶ暖かくなって、桜の開花が近づいてきた3月20日の第二例会。副テーマーの根岸清一Ｌの司会進行からはじまり、第一副会長・伊東敏Ｌの開会ゴングで幕を開けました。

中西美子会長が本日急遽欠席されたため、会長代行の鈴木誠Ｌが挨拶されました。「本年5月には新元号となりますが、平成の30年間を振り返ると、昭和の時代と比べてGDP･賃金などあまり進歩が感じられなかったとの感想だそうで、この失われた20～30年を本日出席されている中山終身名誉会長に後ほど解説していただきたいとお話されました。

次に河野信之Ｌが会員増強賞の表彰を受けました。河野信之Ｌ、おめでとうございます。

続いてお待ちかねの中山正暉終身名誉会長のお楽しみ講話です。前日ご子息の中山泰秀衆議院議員の恒例「カレーの会」があったそうで、2回続けて例会に出席いただきました。

講話は、「明日にも開花宣言される靖国神社の桜を見ると、今でも戦時中を思い出される」とのお話で始まりました。"同期の桜"の歌を口ずさみながら、この時期は戦争で亡くなった方が桜の花になってお互いに再会しているようだと話されました。

小学生3年の頃に真珠湾攻撃が有り、英雄神様と思っていた山本五十六は、戦艦大和で生き残った方のお話から、実はミッドウェー海戦で間違った作戦指導があり、今となっては落ちた偶像と感じているそうです。また当時、瀬島龍三が戦中にソ連と通じていて東京裁判でソ連の証人になっていたこと、「敗戦革命」でその後の日中条約が今思えば日本が堕ちていった運命の第一歩、だんだん政治家が物を言わなくなった事、台湾でなく中国との交友を選んだ日本、30年後は大変な事になりますと一人で反対した事、オウム真理教・尖閣諸島と石原慎太郎、今後の日本の運命は台湾と中国との関わり方に左右されると懸念されている事、ベトナム戦争後にキッシンジャー、佐藤栄作がノーベル平和賞をとった理由、日本がおかしくなったソ連との付き合い方、その後ロシアへ訪問された話とユーゴスラビアでの浜田幸一議員の博打の話、米軍の航空母艦に招待された事、国後島へ訪問し地質学者の家に宿泊したエピソード、またヤルタの秘密協定で千島列島を奪われてしまった事、日本軍のシベリア抑留、そこに瀬島龍三が暗躍していた事など、今まで日本が犯してきた数々の過ちと今後の憲法改正問題とある心配事……色々な事を考えると、日本の国家の威厳を示すためにライオンズクラブの使命・役割は今後大きいと感じるとのお話でした。

最後に、ご子息にも忘れるなと強く言われているのは、「易経」の諺の「安にして危を忘れず、存にして亡を忘れず、治にいて乱を忘れず」。つまり、どんな時でも、万一の事態（緊急時）の準備を怠らないことが大切であると、今後の日本のあり方を考えさせられる講話でした。

会食・懇談は前会長の田口彰紀Ｌのウィ・サーブで宴が始まり、当クラブ特別会員の岡田勇一郎Ｌが台東区の区議会議員に見事初当選された事を報告されました。岡田Ｌ、当選おめでとうございます！

後半司会は副テーマーの櫻井俊宏Ｌが担当。河野信之Ｌが昨日中山泰秀衆議院議員の「カレーの会」に出席された模様を報告され、また河野Ｌが毎月発行する三宝ゴルフ通信について中山終身名誉会長から頂いた70通の御礼のハガキを紹介いただきました。

続いて鈴木誠Ｌの大学・学員会情報では、朝日新聞の文京区新キャンパスの広告について報告がありました。大越武雄Ｌと先日、茗荷谷の移転先を見学に行かれたそうです。

また東京マラソンで日本人トップに入った中大・堀尾選手の話と来年の箱根駅伝予想を櫻井俊宏Ｌ・木村実牙男Ｌから頂きました。

続いて理事会報告（幹事長境捷彦Ｌ）、テールツイスターは石黒敏子Ｌ、伊藤尚Ｌのコンビで発表いただきました。ファイン・ドネーションの発表（会計･星野紘紀Ｌから11万8,000円の報告でした）、全員で中央大学校歌斉唱、第二副会長・横井弘明Ｌが桜の花のスピーチを綺麗にまとめて閉会のゴングとなり、無事終宴となりました。
（出席者21名）

【Ｌ井原俊二・記】

ご報告

2018年11月24日（土）於 みなとパーク芝浦・港区スポーツセンター

「障がいの有無に関わらずみんなで楽しめるスポーツ体験会！」参加報告

L増渕 秀一

2018 年 11 月 24 日（土）、今井ガバナー期ライオンズデー全体アクティビティ「障がいの有無に関わらずみんなで楽しめるスポーツ体験会！」が、みなとパーク芝浦・港区スポーツセンターにて開催されました。

当クラブからは榎L、私L増渕が参加し、障がい者の方々と一緒に卓球バレーやボッチャの試合、スポーツ吹き矢やアダプテッドエアロビックスを体験し、障がいの有無に関わらずみんなで心を一つにしてスポーツすることが出来ました。

そしてイベントの最後には、元・プリンセス プリンセスの渡辺敦子さんによる"みんな「ダイアモンド」大合唱"が行われ、イベントは無事終了となりました。

ご報告

2019年2月11日（月・祝）於 新宿コズミックセンター

第32回少年少女レスリング選手権大会

L大越 武雄

2 月 11 日（月・祝）、新宿コズミックセンターで開催された山浦 L が大会の名誉会長を務める少年少女レスリング選手権大会に、応援・観戦に行ってきました。

小さいながら機敏な動きで勇猛果敢に試合に臨む少年少女たちの姿は、微笑ましくも迫力がありました。

このまま立派に、大きくたくましく育って行ってほしいですね！

寄稿

ロースクールと老荘思想

弁護士　横井 弘明

老子と荘子を文庫本で通して読んだことがある。老荘思想と一括りにされることも多いが、両者はだいぶ異なっている。共通しているのは「道（タオ）」を最高理念としているところであるが、この「道」についてはどこを読んでも定義らしきものが出てこない。宇宙を支配する力、法則のようなものを指しているように思われるが、書物を読んだだけでは分からない。言葉で教えられるようなものではなく、修行を通じていわば体得すべきもののようである。

ところで、老荘の師は、無能な師ほど楽ができるように思える。弟子から難しいことを尋ねられたら、「それは道である」と答えればよい。問答を挑まれても、「修行が足りん」と一喝して追い払えばよい。

ロースクールの教員はそんなわけにいかない。旧司法試験のような一発勝負による選択ではなく、時間をかけた丁寧な教育による法曹養成が期待されていたはずであるが、教員側の意向に反して、学生からは分かりやすい、正解指向の指導が求められる。学期末の終わりには無記名アンケートがとられ、教員も厳しく批判される。たまたま親しい後輩に強めの言葉で指導したら、ほかの学生から「私たち学生は分からないのだから、もっと優しい言葉で分かりやすく指導すべきである」などと厳しいお叱りを受けたことがある。

われわれのころは、大先輩から、優れた基本書を繰返し読み、格闘せよ、そうすればあるとき世界が開け、法の考え方を体得することができると教えられてきた。法律学も実は老荘の教えに近い。

ロースクールが本来の理念に従った教育を徹底すれば、教員も少しは楽ができるのではないかと不謹慎なことを考えた。

（晴海協和法律事務所　寒中お見舞いより転載）

15th Anniversary Since 2005

東京白門ライオンズクラブ結成15周年記念大会開催

ありがとう 母校への奉仕一筋　今ここに15周年

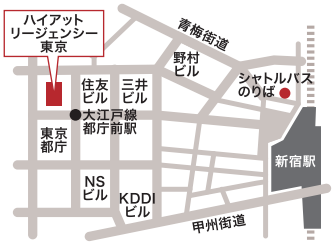
～開け世界の門戸 白門夢未来～

会場：ハイアット リージェンシー 東京（西新宿）
〒160-0023 東京都新宿区西新宿2-7-2

2019年6月1日（土）16:20受付開始～17:00より特別講演

2019年 6/1 土

東京白門ライオンズクラブ
終身名誉会長　L中山正暉（30年卒）
会　長　　L中西美子（36年卒）
実行委員長　L榎　秀郎（36年卒）



結成15周年記念大会に、ぜひ皆様のご来会をお待ちしております。

*15周年大会のお問い合わせ先／榎 秀郎：携帯へご連絡下さい 090-2309-9843

編集後記

時が経つのは早いもので、先日新年のご挨拶をしたかと思ったら、もう桜の花が満開、春うららかな4月上旬となりました。これからメンバーの方は6月1日（土）のクラブ結成15周年記念大会の準備で大忙しのことと思います。例会だよりは今回も境L、ノラコミさんの協力で発行できましたことを感謝いたします。メンバーの皆様のご意見やご寄稿文など、随時募集しております。

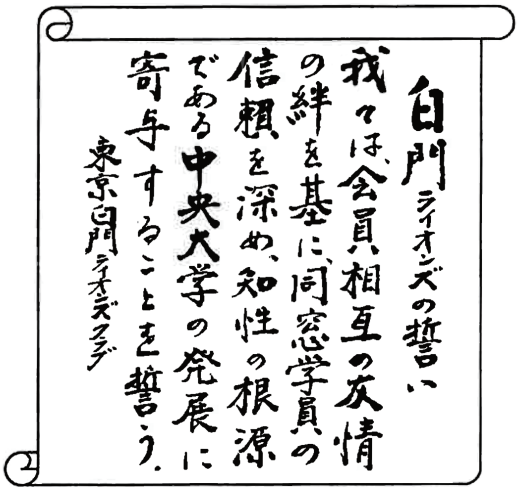
【L井原 俊二・記】

Quarterly of Lions　2019.1-2-3 No.15

発行日　2019年4月30日
発行人　中西 美子
編集／総務・広報委員会　井原 俊二　境 捷彦　大越 武雄　増渕 秀一
発行所　東京白門ライオンズクラブ
事務局　八王子市南大沢 3-14-4-304　TEL/FAX.042-676-4147
制作協力　株式会社 ノラ・コミュニケーションズ

白門ライオンズ会報　揮毫　中山 正暉L

2018.7 ～ 2019.6



クラブスローガン

白門の絆を奉仕で結ぶ母校愛

東京白門ライオンズクラブ

白門ライオンズクラブ

http://hakumon-lions.org